

第42回高文連後志支部音楽発表大会

8月25日（金）に、小樽市民センター・マリナーホールにおいて本校を当番校に「第42回高文連後志支部音楽発表大会」が開かれました。

大会には後志支部の合唱部門2校、日本音楽部門1校、吹奏楽部門6校の約160名が参加し、日頃の練習成果を披露しました。

本校は当番校として、吹奏楽局、音楽部、箏同好会、放送局の生徒が舞台進行や受付、誘導などを担当し、大会運営を支えました。

開会式では、当番校生徒を代表して、吹奏楽局局長が「日頃の練習の成果を発揮し、良い演奏となるよう、頑張りましょう」と挨拶しました。各校の発表は素晴らしい演奏ばかりで、来場された皆さまを魅了しました。

さらに、合唱部門参加校による合同合唱、吹奏楽部門参加校による合同合奏が行われ、当日の練習や発表を通して、各校生徒の交流が図られました。

また、毎年恒例の「交流会」では、各校の代表生徒が、部の紹介や主催する演奏会のお知らせなどを行い、会場全体が和気藹々とした雰囲気の中、参加各校の活動や、普段の様子を知る機会となりました。

結果は合唱部門、日本音楽部門、吹奏楽部門とも、小樽潮陵高校が最優秀賞となり、10月3日～4日に、室蘭市で行われる「全道高等学校音楽発表大会」に、後志支部代表として参加いたします。

